

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	令 和 元 年 5 月 3 0 日 (木)		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	5 月 3 0 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	5 月 3 0 日 午 後 0 時 0 5 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
	木 村 雅 文	欠 席	
説 明 員	山上教育部長、星野参事、		
	栗津副参事兼教育総務課長、片岡学務課長、		
	教育政策室川和田担当課長、小須田学校給食課長、福田生涯学習課長、		
	教育総務課榎本主幹		
書 記	教育総務課総務担当 山本副主幹、藤井主事補		
傍 聴 人	4名		

会議の経過及び結果

教育長

令和の時代が幕開けして一月が経とうとしています。30年以上前の平成元年を振り返ると、消費税施行（税率3%）、ソウル・オリンピック開催、NHKが衛星テレビの放送開始、手塚治虫、美空ひばりが死去しました。流行語としては、一杯のかけそば、テトリス、カイワレ族、5時から男、ツーショット、ほたる族などがありました。

教育では、平成元年3月に小中学校の学習指導要領が全面改訂されました。改訂の4本柱は、心豊かな人間の育成、自己教育力の育成、基礎・基本の重視と個性教育の推進、文化と伝統の尊重と国際理解の推進でした。具体的には、小学校では生活科の新設とこれに伴い低学年の社会科と理科は廃止されました。また、国語の力の充実に配慮し、国語科の授業時数が1学年34時間、2学年35時間増加しました。

中学校では、生徒の個性を生かす教育の一層の充実を図る観点から、選択履修幅の拡大により、3～8時間の幅で全教科から各学校が適切に工夫するとされました。厳しく言いますと、この選択教科は、文科省の理想と学校の実態が乖離していた典型で、学校には選択教科をマネジメントする力が大変弱かったように思います。

では、30年後の教科書は「平成」をどう振り返るのでしょうか。二度の大震災や原発事故は当然語り継がれるでしょう。この時代に日本列島の人口がピークを越えたこと、つまり、平成20年に迎えたピーク、1億2808万人は江戸時代の終わりからの人口成長の到達点だったこと、平成12年にGDPが世界2位にまでなったことも語られると思います。一方、平成の終わりは19世紀から上り続けた文明の峠を越え、GDPは世界26位に、生産年齢人口は6割を下回ってしまいました。

私の好きな司馬遼太郎「坂の上の雲」原作のドラマの主題歌「Stand Alone」の歌詞です。「ちいさな光が 歩んだ道を照らす 希望のつぼみが 遠くを見つめていた 迷い悩むほどに 人は強さを掴むから 夢をみる 凜として旅立つ 一朵の雲を目指し」

	<p>世論調査で「良い時代だった」と答えた人が7割を超えた坂道の峠を私たち大人は今まさに越えたところで先行きに戸惑っているような気がします。見渡せば眼下には多様性の海が広がる峠の下り道です。子供たちに一朵の雲を目指す、希望のつぼみ、夢を与えるのが教育です。令和の時代の教育改革を今後も力強く進めていきたいと考えています。</p>
教育長	<p>それでは、ただ今から、令和元年第1回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>了承</p>
教育長	<p>それでは、会議録に御署名をお願いします。</p>
各委員	<p>署名</p>
教育長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、人事案件及び公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>報告第1号 戸田市社会教育委員の委嘱について</p> <p>報告第2号 戸田市公民館運営審議会委員の委嘱について</p> <p>報告第3号 戸田市文化財保護審議会委員の委嘱について</p> <p>報告第4号 戸田市図書館・郷土博物館協議会委員の委嘱について</p> <p>議案第1号 戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱第5条に基づく地区指定等について</p>
各委員	<p>異議なし</p>
教育長	<p>それでは「報告第1号から報告第4号及び議案第1号」は、秘密会とすることに決定いたしました。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>はじめに、「教育委員提案」について御報告いたします。以前の教育委員会にて委員より御質問のあった件について報告がございます。</p> <p>① 通級指導の現状について（土肥委員）</p> <p>② 日本語指導の現状について（仙波委員）</p> <p>それでは土肥委員から御提案のありました「教育委員提案① 通級指導の現状について」を事務局より説明願います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>①通級指導の現状について報告します。</p> <p>本市の通級指導は、難聴言語の指導と、発達障害・情緒障害の指導の二つがあります。まず、難聴言語通級指導から御説明いたします。</p> <p>資料1 ページ下段、学校教育法施行規則 140 条において、特別支援教育に関すること、141 条に通級指導に関することが規定されています。</p> <p>2 ページ上段を御覧ください。本市における難聴言語の通級指導、いわゆる「ことばの教室」については、新曽小と美女木小の2校に5教室設置し、新曽小は78名、美女木小は51名の対応を行っています。現状では待機児童もおりますが、難聴言語の通級は3期制となっており、途中で退級するお子さんが比較的多くいますので、年度途中で待機児童はいなくなる予定です。</p> <p>2 ページ下段は指導内容です。うまく発音できないお子さん、どもりがあるお子さん、難聴があるお子さんについて、資料のとおり指導を行っています。</p> <p>3 ページ上段は入級までの流れとなっています。未就学児と在籍児童の二つの対応があります。できるだけ早いうちに指導をすることが有効ですので、なかには高学年まで通う方もいますが、ほぼ小学校の低中学年のお子さんが対象となっています。</p> <p>3 ページ下段は近隣他市との比較となっています。近隣他市と比較した限りでは、本市は対応が進んでいる状況となっているかと思えます。</p>

4 ページ上段は課題についてです。量的・質的の両面からの課題があります。量的な面では児童数の増加に伴い通級を希望する児童の増加です。通級教室の増設・新設も課題となります。質的な面としては指導者の育成が大きな課題の1つになっています。

今後については、4 ページ下段にまとめていますが、待機児童解消に向けて、通学区域の柔軟な対応や就学前からの指導体制の整備、また、通級教室を増設していくとともに、指導者の育成を進めることなどがあげられます。

5 ページからは、発達障害・情緒障害の通級指導となります。本市では、喜沢小に2教室、美谷本小に1教室設置し、喜沢小は22名、美谷本小は21名の対応をしています。指導内容については、現在は個別指導中心ですが、慣れてきた段階でA週B週を交互に設定し、A週には個別指導、B週にはグループ指導を行っていく予定です。グループ学習を設定しているのは、障害の特徴から個別のスキルだけではなく、コミュニケーションの取り方などを学ぶことも重要であることから行っています。ただし、美谷本小については、対象人数が多いため、ABC週という設定をして、3週のうち2週で指導を受けるかたちとしています。これは先程の難聴言語指導教室比べ、年度途中の退級児童がほとんどいないことから、年度当初から待機児童を出さないための工夫を行っています。

5 ページ下段は近隣市の状況、6 ページ上段は指導の状況や保護者の声となっています。寄り添う指導や子供の伸びを感じていただいている方が多いかと思います。

6 ページ下段の今後の課題としては、発達情緒障害の通級指導の需要が高まっていますので、今後予想される待機児童を出さない工夫や教室の増設、また、指導できる人材の育成確保などがあげられます。

また、7 ページ上段にありますように、現在は小学校のみの通級としておりますが、今後は中学校における通級指導も検討していきたいと考えています。

	<p>なお、昨年度、県に通級教室の増設申請をしたのですが、埼玉県全体で国からの教員の加配が増えなかったという理由から増設が認められませんでした。今年度も改めて増設申請を行いたいと考えています。</p>
教 育 長	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
委 員	<p>ことばの教室については、できるだけ早く入室し指導をすることが有効であるので、待機児童がいないほうがよいと思いますが、年度途中で待機が解消されるとのことでしたので安心しました。</p> <p>設置校が新曾小と美女木小で地区が偏っているため、東地区にも設置し、保護者の送迎の負担を解消できないものでしょうか。</p>
事 務 局	<p>建替え工事後の戸田東小学校に設置を予定しており、その際に偏りは解消される見込みです。</p>
委 員	<p>近隣他市と比較すると、通級指導教室の設置率がよく、皆さんの努力と結果が出ており、評価したいと思います。</p>
委 員	<p>指導教員には特別な資格が必要なのでしょうか。また、カリキュラムはどのようになっているのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>特別な資格は必要ありませんが、特別支援学級の指導経験者を主に充てています。市内特別支援学級において成果を挙げた先生2名をアドバイザーとして派遣し、質の向上を図っています。</p> <p>カリキュラムについては、特別の教育課程として、通常学級の担任と綿密に連絡をとり指導計画を作成しています。発達・情緒については、療育を中心に行っています。</p>
教 育 長	<p>通級指導教室や特別支援教育については、戸田市として今後も力を入れていきたいと考えています。文科省からも、産官学と連携して先進的な特別支援教育を行っているとの評価をいただいておりますが、まだまだ道半ばです。</p> <p>現場を熟知し指導ができる人材の確保や増設申請がなかなか認められな</p>

	<p>い難しさがありますが、教室数の増及び質の向上を目指して今後も取り組んでまいります。</p> <p>6 ページ上段の保護者の声について、よいことばかり記載されていますが、課題はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>先程も委員より御意見がありました。通級指導教室へ通うのに遠くて大変という御意見もあります。これについては、戸田東小中学校建替え工事完了後に解消される予定です。また、今後は中学校の通級指導教室の設置の検討を行いたいと考えております。</p>
教育長	<p>続きまして、仙波委員から御提案のありました「教育委員提案② 日本語指導の現状について」事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>②日本語指導の現状について報告します。</p> <p>日本語指導については、平成30年に出入国管理及び難民認定法、いわゆる入管法が改正され、外国人受入れの拡大に伴い、日本語指導が必要な児童生徒等が今後さらに増加することが予想されます。児童生徒等の実態に応じた日本語指導をこれまで以上に組織的・計画的に実施することが日本全国の課題となっており、戸田市における日本語指導の現状を御報告します。</p> <p>資料8 ページ下段を御覧ください。日本語指導の教育課程上の位置付けとしては、平成26年の文科省省令において、特別の教育課程などの編成による実施が位置付けられました。また、9 ページ上段、次期学習指導要領において海外から帰国した児童や外国人の児童の指導についても触れられています。</p> <p>9 ページ下段を御覧ください。本市における外国籍の児童生徒の状況です。小学校が289名、中学校が44名という状況です。国籍としては、資料のとおりですが、中国籍を中心にアジア系のお子さんが多い状況です。</p> <p>10 ページ上段は、本市の日本語指導体制です。平成14年度から非常勤職員の日本語指導員を学校巡回する形で進めてきました。当初は2名で</p>

	<p>したが現在は5名体制で巡回しています。また、昨年度からは県の加配教員として日本語指導教員が配置されています。日本語指導教員が配置されたといっても日本語指導の専門家が配置されるわけではありませんので、市の非常勤が巡回してOJTで研修などを行っています。</p> <p>10ページ下段ですが、日本語指導の実際の流れについては、学校に入学、転入と同時に、管理職の面接とともに、保護者からの申請が行われ、指導が始まる流れになっています。</p> <p>11ページは指導教材です。文科省のプログラムを参考にしながら、下段にあるように児童生徒の個別の指導計画を作成し、実態に応じた指導を進めています。</p> <p>12ページ上段は日本語指導の様子です。カードでゲームなどをしながら行ったり、ここにはありませんが、ICTの日本語を学ぶアプリにより指導をしたりしています。</p> <p>最後に、戸田市在住の子供のための日本語教室として、毎週金曜日にボランティアの方々が指導を行っています。すでに10年ぐらい歴史があり、このような方々に支えられて戸田市の日本語指導が行われています。</p>
教 育 長	何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	大変よくわかりました。外国籍の児童生徒数をお示しいただきましたが、これは多いのでしょうか、それとも少ないのでしょうか。
事 務 局	<p>日本の学校に在籍する外国人児童生徒数は、学校基本調査によると平成30年度時点で小学校に約5万9千人、中学校に約2万3千人、その他高等学校等に約1万1千人で合計約9万3千人となっています。</p> <p>そのうち、日本語指導が必要な児童生徒の在籍状況として、一定地域に集中して在籍しているケースが多い一方、全国的、地域的に散在しているようです。平成28年度の調査結果では、外国籍の児童生徒の在籍校約7千校中、5人未満の在籍校が全体の約75%を占めています。それと比較すると戸田市の在籍状況は多いといえます。</p>

委 員	通常の授業との兼ね合いはどのようになっているのでしょうか。
事 務 局	児童生徒にあわせ、判断しています。通常授業とは別に実施する場合や、通常授業に指導員が入ってサポートする場合もあります。
委 員	メンタル面でのサポートはいかがでしょうか。
事 務 局	子供たちは大人と違い、遊びながらうまくコミュニケーションを図ってすぐ溶け込んでいるので、あまり心配がないようです。
委 員	金曜日の日本語教室は何名で指導を行っているのですか。
事 務 局	日本語指導員 5 名とボランティアの方々で実施しています。なお、大人向けの日本語教室は、国際交流協会で開催しています。
委 員	学校応援団など、ボランティアで日本語指導員になってくださる方はいないでしょうか。
事 務 局	部活動指導員にも共通することですが、ボランティアは理想ではありますが、本市の場合、日中の時間の地域の人材活用はなかなか難しいのが現状です。
教 育 長	外国人児童生徒の受け入れを拒否している教育委員会があるという報道がありました。本市ではそのようなことはありますか。
事 務 局	一切ありません。市に相談のあった外国人児童生徒はすべて受け入れており、先程御説明したとおり、語学面・精神面の両面からサポートを行っています。
教 育 長	外国人受入れの拡大に伴い、学校現場でも緊急事態の際など意思疎通に困る場面が多くなってくると考えられます。音声翻訳機など AI の力も借りるべきと考えますがその対応についてどのように考えていますか。
事 務 局	児童生徒には、サバイバル日本語など緊急時の意思疎通について指導をしていますが、教育政策室で POCKETALK を 1 台購入し、学務課の窓口対応等で試用しています。検証の結果、有用であったため、市内小中学校 18

	校各校1台ずつ今秋導入を予定しています。
教 育 長	<p>それでは他に御質問等がないようですので、続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして6件の報告がございます。</p> <p>① 令和元年度市研究指定等委嘱校 学校研究主題一覧について</p> <p>② 平成30年度戸田市民大学認定講座の実績及び平成31年度の予定について</p> <p>③ 戸田市公民館講座一覧表について</p> <p>④ 彩湖自然学習センター愛称募集について</p> <p>⑤ 平成31年度入学 国立・私立中学校就学先について</p> <p>⑥ その他</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
事 務 局	<p>①令和元年度市研究指定等委嘱校 学校研究主題一覧について報告します。資料1～2ページを御覧ください。</p> <p>今年、戸田東小、喜沢小の小学校2校、戸田東中、新曽中の中学校2校に新たな内容で研究の委嘱を行いました。本市では、全小中学校が自主的に研究指定校となり、校内における研修を進めております。今年度の傾向として、本市が推進しているPEERカリキュラムの内容などを研修内容や、プロジェクト型学習であるPBLを取り入れる学校が増えてまいりました。</p> <p>また、研究発表校については、発表予定日の欄のとおり、小学校7校、中学校2校が発表をいたします。教育委員の皆様には、改めて詳細な御案内をいたしますので、現在のところは、可能な限り午後の予定を押さえていただけると幸いです。</p> <p>2ページの下段、市の教育充実のための委嘱研究として、今年度も戸田東小、喜沢小、戸田東中の3校に「経済教育及び金融教育に関わる小中一</p>

	<p>貫教育に関する研究」をお願いしております。また、国立教育政策研究所からの研究委嘱ということで、喜沢小が特別活動、新曽北小が図画工作の委嘱を受けております。さらに、今年度から株式会社 LITALICO との連携によるペアレントトレーニングに関する研究を実施いただきます。</p> <p>ペアレントトレーニングとは、子供の行動に注目して、行動療法に基づく効果的な関わり方を学ぶプログラムで、主に発達障害もしくは発達障害が疑われるお子さんの親御さんを対象に行うプログラムです。そのトレーニングプログラムの講師となる教員の育成を進めてまいります。ペアレントトレーニングのできる教員を育成することは、悩みを抱える保護者の教育相談を充実させるだけではなく、日々の児童生徒への指導に生かせるものと考えております。</p>
<p>事務局</p>	<p>②平成30年度戸田市民大学認定講座の実績及び平成31年度の予定について報告します。資料3ページを御覧ください。</p> <p>昨年度の戸田市民大学は、6コース、計42講座を実施しました。特に大学連携コースの青山学院大学連携講座では、「都市と芸術」をテーマに4回実施しましたが、定員90名に対し約120名ものお申し込みを頂き、大変好評の講座となりました。</p> <p>また、市民が企画を公募し実施する市民企画講座では、「心が癒される気づきの心理学入門」をテーマとして、定員40名に対し、2倍以上の86名のお申し込みをいただきました。大学連携講座や公開講座以外の単体の講座で、80名を超える申し込みは初めてのことでした。40代から50代の方を中心に、圧倒的に女性の受講者が多いのが特徴で、受講者の半数以上が市民大学を初めて受講した方であったことから、新たな受講者層を開拓した講座となったと考えております。</p> <p>資料下段の合計では、延べ107回の講座に、平成29年度3,331名に対し、平成30年度は3,697名もの市民の皆様に御参加いただきました。</p> <p>続きまして、資料4ページのチラシを御覧ください。先週の5月25日(土)から生涯学習課の今年度最初の講座として、青山学院大学連携講座</p>

	<p>がスタートしました。講座の冒頭に戸田市民大学の学長である市長、副学長である教育長に御出席いただき、開講式を開催しました。今年度の講座のテーマは、「東京オリンピックのころを考える」として、4回目は第34代木村庄之助の伊藤様から、前回の東京オリンピック当時の大相撲について御講演頂く予定です。</p> <p>続きまして、別紙ピンク色の「2019年度版 戸田市民大学カリキュラム予定表」を御覧ください。今年度、開講10周年を迎える市民大学では、昨年度から講座数を25増加し、全67講座となります。人生100年時代を迎える中で、年齢に関わりなく元気に活躍し続けることができるよう、健康の維持・増進のほか、様々な知識や技術の取得等に関連する講座の拡充を図ったものです。また、新たに「現代課題」を捉えた講座を開設し、人工知能（AI）を取り上げるなど、これまで以上に魅力ある講座を企画してまいります。なお、新規の講座は、左側に「新」と記載しております。</p>
事務局	<p>③戸田市公民館講座一覧表について報告します。</p> <p>別紙「2019年度版 公民館講座一覧表」を御覧ください。市内の3つの公民館主催の講座への参加促進のため、今年度、初めて一覧表にまとめ、配布しております。</p> <p>今年度の公民館講座については、市の生涯学習推進計画の基本施策との整合性を図りつつ、内容を見直し、家庭教育講座やプログラミング講座をはじめ、新規の15講座を開設しました。また、子育て世代も参加しやすいよう、子育て世代向けの6講座を託児付きで実施することにいたしました。</p> <p>なお、講座申込について、昨年度までは電話・窓口・往復はがきによる方法のみでしたが、今年度から往復はがきを廃止し、ホームページに申込フォームを作成し、メールでも気軽に申込みできるよう改善しました。</p>
事務局	<p>④彩湖自然学習センター愛称募集について報告します。資料5ページを御覧ください。</p>

	<p>彩湖自然学習センターは、開館から22年が経過し、新しい企画等を地道に実施しているものの、展示物やシアター等の老朽化や地理的要因等により入館者数が伸び悩んでいる状況です。そこで、入館者数の増加を図るため、今年度はいくつかの事業を展開してまいります。その一つとして、皆さんにより親しんでいただけるよう、施設の愛称を募集いたします。6月中に募集し、9月頃に決定する予定です。応募用紙は、市内小学生のご家庭に配布のほか、市内公共施設、市のホームページからもダウンロードできます。また併せて、施設のマスコットキャラクターの名前も市民の投票で決定する事業も行います。最後に、チラシ下段にあります、新企画として7月からドクターフィッシュが仲間入りし、体験型施設として事業展開してまいりたいと考えております。</p>
事務局	<p>⑤平成31年度入学 国立・私立中学校就学先について報告します。</p> <p>平成31年度における、戸田市内の中学1年生は計1,280名です。そのうち131名が、国立・私立中学校に入学し、進学しました。具体的な就学先については一覧のとおりです。</p> <p>また、中学校1年生全体に占める国立・私立中学校就学者の割合は、戸田市が平均10.1%、埼玉県が平均5.2%となっております。</p>
教育長	次に⑥その他ですが、事務局より何かありますか。
事務局	特になし
教育長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
委員	報告事項①について、研究主題は読んだだけで研究内容がわかるものがよいと思います。実際はよい研究であっても、研究主題から内容が読み取れないのは残念です。
教育長	中学校で全教科を研究教科とする学校が増え、教師全員、学校全体で研究に取り組もうという姿勢が見られます。内発的動機付けのない研究や研究発表は働き方改革の点からもやめたほうがよいと文部科学省の幹部も言

	っていますが、その点についてどのように考えますか。
事務局	働き方改革と言っても、教師が指導力を向上させることに関しては、削減してはならないものであり、業務内容の選択と集中が必要であると考えます。教育委員会でも、各学校の内発的な取組をサポートしております。
教育長	報告事項②・③の市民大学や公民館講座については、新しい受講者の開拓など活性化は図られていますか。
事務局	先程も御報告しましたとおり、心理学など、テーマによっては新たな受講者層を得ることができましたので、その方々がリピーターとなっていただけのようにしたいと考えております。
教育長	新たに受講した方々や議員さんなどのインフルエンサー的な方にロコミしていただけるとよいと思います。今後も広く周知してください。
事務局	承知いたしました。
教育長	それでは、他に質問等がないようですので、次第の6その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。
事務局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、6月27日（木）午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。
各委員	了承
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事務局	特になし
教育長	その他に委員から教育委員提案のテーマについて何かございますか。
委員	一昨日、川崎で痛ましい殺傷事件が起きました。防犯体制のあり方や、

